

明窓

明德館 図書館だより 第91号
発行 令和8年3月24日 秋田市立中央図書館明德館
秋田市千秋明德町4番4号 電話 018-832-9220

今号からレイアウトを変更し、ウェブで発行します

秋田市立図書館ホームページ URL
<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008846/1012684/1012688.html>

「芸術文化ゾーンの活性化と明德館」

久保田城址歴史案内ボランティアの会 会長／中央図書館明德館 元館長 小国 裕実

明德館勤務時代、県民会館の音頭取りで、明德館・県民会館・平野美術館・佐竹史料館など中心部施設によって、協議体を結成しようという働きかけがあった。これらの施設の連携と活性化を目的としたものだった。このときは相互理解と連携については共通認識を確認できたが、具体的な事業の展開までには至らなかった。発想は先駆的ながら、時期尚早だったのかもしれない。

その後、平成から令和にかけて、秋田市や商工会議所の提起で中心市街地活性化基本計画が示され、昨年は佐竹史料館やマンション・ホテルの建設ラッシュがピークに達した。残るのは駅前正面と木内ぐらい。この計画では千秋公園本丸・二ノ丸・三ノ丸(下中城町)一帯は「芸術文化ゾーン」として特別のエリアに指定された。駅を降りた来訪者は大手門堀に架かる遊歩道を渡り、ミルハスや文化創造館・明德館前から大坂を登り、二ノ丸に至って佐竹史料館脇の小径を下り、黒門堀から大手門堀に戻るという周遊コースが用意されている。このゾーンの地理的中核は言うまでもなく久保田城址である。佐竹氏の秋田転封が、城下を含むこの都市の現在を決めた。その意味で、郷土の歴史の重さを検証する佐竹史料館が改築オープンした意義は極めて大きい。

また、ゾーンの知的牽引を担う明德館は、まさに「知の殿堂」であり、例えば所蔵する市指定文化財の「鍛冶町文書」「新屋肝煎文書」を活用して、佐竹史料館との連携が図られる。「秋田の赤い靴」像は、孤児・金子ハツが明德小学校に学んだことから、明德館構内に据えられた。既に映画化されてはいるが、ミュージカル仕立てにしてミルハス上演もありかもしれない。

昭和十年前後というのは、秋田の芸術文化シーンにとって特段象徴的な時期である。明德館に記念室をもつ石川達三が第一回芥川賞を受賞したのが昭和十年。藤田嗣治が大作「秋田の行事」を描いたのは昭和十二年で、秋田が生んだ偉大な美術家・勝平得之による「千秋公園八景・秋田十二景」は昭和十年前後に集中している。開戦直前のきな臭い世相にあって、見事なまでに芸術文化の華を上げた。それらに関わる施設が芸術文化ゾーンに凝縮されている。



佐竹史料館 令和7年10月リニューアルオープン

読書週間2025企画展示『名探偵登場名刑事臨場』



第79回読書週間(10月27日～11月9日)に合わせて、企画展示を行いました。本年度の題材はミステリー。『名探偵登場名刑事臨場』と題し、過去の名作から近年の人気作まで、推理役を務めたキャラクターをパネル展示で紹介、登場作品の貸出しを行いました。「日本の名探偵」「世界の名探偵」「日本の名刑事」「世界の名刑事」の各部門の紹介人数は合計120名、「あなたの推し探偵推し刑事」と題した人気投票も行い、盛況の内に幕を閉じました。

推し探偵部門投票結果

- 1位 エルキュール・ポアロ
- 2位 江戸川 コナン(工藤 新一)
- 3位 おしりたんてい
- 3位 シャーロック・ホームズ
- 5位 ジェーン・マーブル
- 6位 湯川 学
- 7位 アルセーヌ・ルパン
- 7位 折木 奉太郎
- 9位 キリオン・スレイ
- 9位 砂絵のセンセー
- 9位 明智 小五郎



名探偵登場名刑事臨場

推し刑事部門投票結果

- 1位 コロンボ警部
- 2位 加賀 恭一郎
- 3位 長谷川 平蔵
- 3位 姫川 玲子
- 3位 古畑 任三郎
- 6位 父(『退職刑事』)
- 6位 ジュール・メグレ
- 8位 銭形平次
- 9位 薬師寺 涼子
- 9位 カミーユ・ヴェルーヴェン
- 9位 夏目 信人



めるへんくらぶが表彰されました

フォンテ文庫で活動されているめるへんくらぶが、令和7年10月29日に秋田県社会福祉協議会会長表彰を受けました。

めるへんくらぶ代表 二田博子さんから

めるへんくらぶは、昨年9月に設立30年になりました。

中央図書館明德館で開催された『子どもの本の学校』の受講生が中心になって始めた、自主学習のグループです。

絵本、児童書、素話、わらべうたなどを学びながら、その魅力を広める活動にも取り組んでいます。

フォンテ文庫で月1回行っている「親子で楽しむわらべうた(0～3歳)」は、15年目に入りました。参加してくれた皆さんが笑顔になって楽しんでくれるのが、私たちの喜びになっております。親子とふれあいながら和やかな時間を続けていきたいと思ひます。



親子で楽しむわらべうたは、毎月第4火曜日の午前11時から開催!

「せせらぎのおと～詩の朗読の時間～」

中央図書館明德館河辺分館では、令和7年3月から12月までの間(11月を除く)、月1回の大人向け事業として「せせらぎのおと～詩の朗読の時間～」を開催し、計9回で、延べ100人の参加者がありました。H氏賞受賞詩人・十田撓子さんの朗読で詩を味わうこの会は、事前申込み不要で、途中参加も退席も自由。毎月第3土曜日の午前11時からの40～50分、小さな分館内の好きな席に座って十田さんの声に身を委ねる、というスタイルの詩の鑑賞会でした。

読んでいただいたのは十田さんご自身の作品、山村暮鳥、ヴァルザー、シンボルスカ、泉谷連子、リルケ、左川ちか、丸山薫、谷川俊太郎、新川和江、中原中也、鮎川信夫、岸田衿子、宮沢賢治など。9月には秋田大学の大西洋一先生にもご参加いただき、イギリスの詩人たちやマザーグースの詩を、英語で紹介していただきました。どの回も、どこか遠くを旅して戻ったような、そんな余韻の残るひとときでした。



イソップ号特別巡回

移動図書館イソップ号の特別巡回と、フォンテ文庫のおはなし会を組み合わせ、いろいろな場所に本とおはなしを届けに行きました。



10/11 エキマエ、はじまる。さんど市

「読書の秋」と「食欲の秋」がテーマのイベントにイソップ号が出動しました。また、「フォンテ文庫の青空おはなし会」を開催し、大型絵本や紙芝居などの読み聞かせを行いました。駅前の芝生広場で大学生や高校生、親子連れなどが本を手に取り、芝生やイスに座り、読書やおはなし会を楽しむ姿が見られました。



11/20・11/21

移動図書館イソップ号と絵本を楽しもう！

フォンテ文庫の職員とイソップ号が保育施設を訪問しました。ミニおはなし会は、手遊びから始まり、大型絵本や紙芝居・パネルシアターを実施しました。参加型の演目では、楽しそうに大きな声で答えてくれました。イソップ号乗車・貸出体験では、「働く車」のイソップ号に乗りこみ、ひとりずつドキドキしながら本を借りました。

令和7年度の主な事業

中央図書館 明德館・フォンテ文庫・河辺分館

Ehonストーリータイム 4/13ほか計15回

秋田大学教育文化学部英語教育コースの学生と、英語で絵本を楽しみます。

こどもの読書週間資料展示 4/15~5/11 本ではぐくむ こどものこころ

読書週間にあわせ、子どもの発達段階に合わせた本を展示。



訪問おはなし会 4/23ほか計16回

子どもたちのいる施設でおはなし会を開催。

レコード鑑賞会 5/6

近隣施設のフリー・オープン・デイにちなみ、所蔵しているレコードを鑑賞。



夏休みは図書館へ行こう

資料展示 7/15~8/24
学校の課題や自由研究などに役立つ図書の展示・貸出し。

子どもカウンター 7/23~7/30

夏休みの課題や調べ物の進め方、おすすめの本などを児童書担当の司書がアドバイス。



フォンテ文庫 7/26 アニバーサリースペシャル

おはなしハーモニーの人形劇「おおかみと7ひきのこやぎ」

子ども広場 10/4

人形劇や大型紙芝居などを上演する特別なおはなし会を開催。



小学生向けボランティア体験 7/27 きららとしょかん明德館で本の整理をやってみよう！

小学生を対象に、書架整理やボランティア実践者へのインタビューを体験。
共催：市民交流サロン



夏休み子ども講座 河辺 7/31 明德館 8/7 切り紙でデザインするステンシルマイバッグづくり講座

環境について学びながらマイバッグを作成し、親子で図書館に親んでもらう講座。
共催：秋田市環境部



市民文化講座

「今こそ備えよう！家庭防災」 講師：斉藤 亜希氏 10/5

非常用持ち出し袋の中身をカードで選ぶワークショップ。



「秋田の食を読む」 講師：伊藤 隆一氏 10/18

秋田県教育委員会が令和6年3月に作成した『秋田県の郷土食』についての講話。



河辺分館 「河辺・雄和地域からみえる日本の歴史」 講師：納谷 信広氏 12/6

身近な歴史の出来事を深く掘り下げ、日本の歴史を考える講座。



かわバオレンジプログラム

せせらぎ講座 「人生会議を始めよう！」 10/15 ((^♪映像ワイワイ♪ 10/24

「もしバナゲーム」をしながら、自分の大事にしたことや望む生き方について考えてみる講座。



「秋田市100年そして21世紀へ」「明日へ飛躍する公園都市」を鑑賞しながら、参加者同士で楽しく語り合うイベント。



図書館のお仕事たいけん 12/21

小学4~6年生を対象に予約本探し、おすすめの本の展示コーナー作り、カウンター業務を体験。



フォンテ文庫 ウィンタースペシャル 冬のおたのしみ会 1/10

ポーリングやフォトスポット、とびだすかいぞくなどで遊ぶ。



石川達三記念室 1/14~1/25 『生きてゐる兵隊』事件 裁判記録特別展示

日中戦争を描き発禁有罪とされた『生きてゐる兵隊』事件の裁判記録や従軍許可証を特別展示。

ボランティア派遣

明德館および河辺分館で活動する読み聞かせボランティアを派遣。

岩見三内小学校／中央市民サービスセンター／南部市民サービスセンター／御所野児童センター／河辺市民サービスセンター

職員派遣

8/17 あきた芸術劇場ミルハス
「戦後80年平和祈念行事」にあわせて関連図書の展示・貸出し。



11/2 ANA クラウンプラザホテル
県の読書啓発イベント「秋田の読書案内展」にあわせて、電子書籍の紹介や利用登録などを実施。



移動図書館イソップ号特別巡回

6/1 「わとわいち~Kawabe クラフトマルシェ~」

10/11 「エキマエ、はじまる。さんど市
『にぎわい、あじわい、読書の秋』

11/20・21 「イソップ号と絵本を楽しもう！」
(めぐみ保育園、こどものくに保育園)
市民が参加するイベントにイソップ号が出動。関連する資料を展示・貸出し。

詳しくは p3 をご覧ください